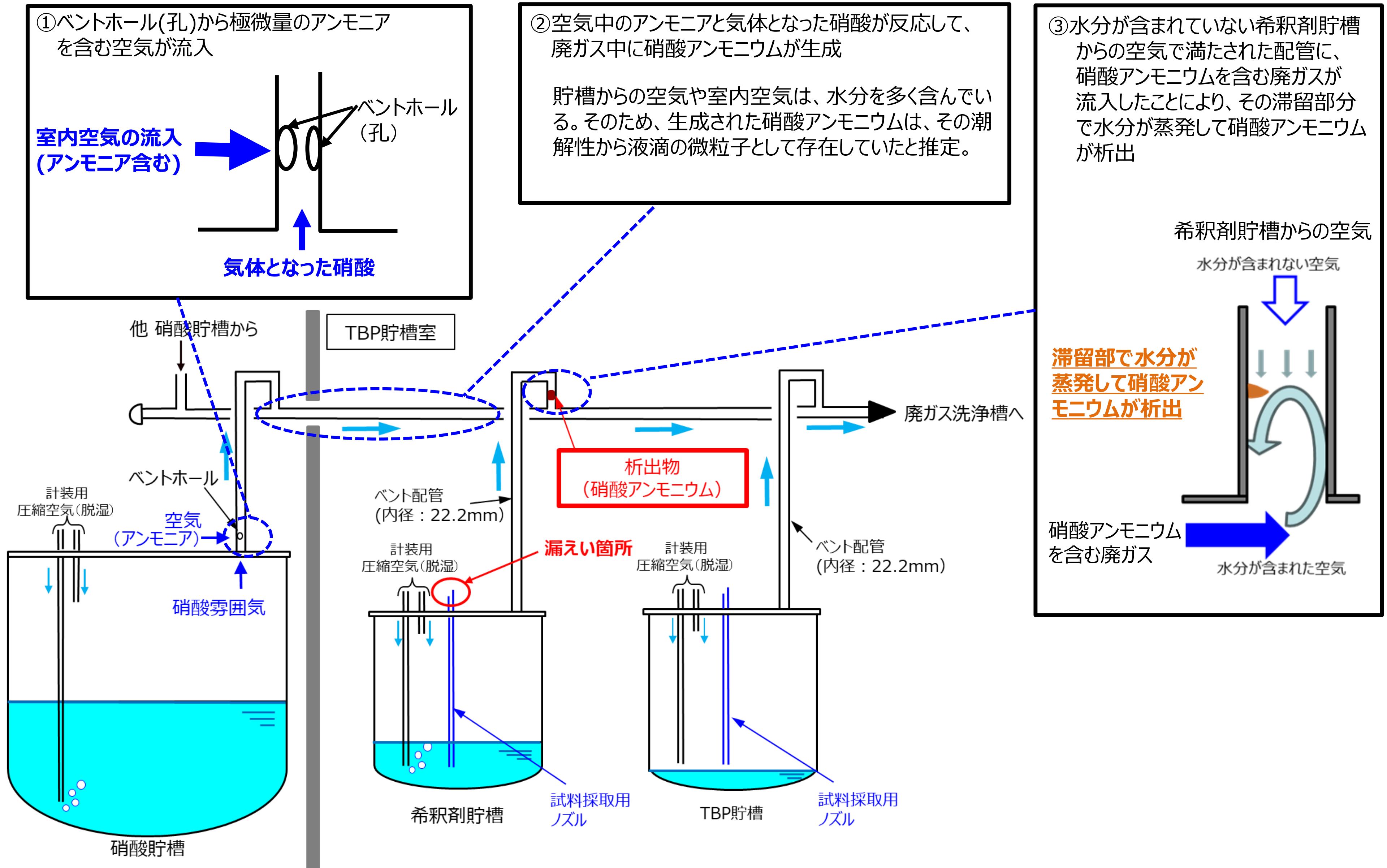
別紙

精製建屋　TBP貯槽室における希釈剤(非放射性の危険物)の漏えい事象について
＜硝酸アンモニウム析出のメカニズムについて＞

大気中に含まれるアンモニアが硝酸貯槽のベント配管ベントホール（孔）から流入し、硝酸アンモニウムが生成・析出したと推定

①ベントホール(孔)から極微量のアンモニアを含む空気が流入

②空気中のアンモニアと気体となった硝酸が反応して、廃ガス中に硝酸アンモニウムが生成

貯槽からの空気や室内空気は、水分を多く含んでいる。そのため、生成された硝酸アンモニウムは、その潮解性から液滴の微粒子として存在していたと推定。

③水分が含まれていない希釈剤貯槽からの空気で満たされた配管に、硝酸アンモニウムを含む廃ガスが流入したことにより、その滞留部分で水分が蒸発して硝酸アンモニウムが析出